

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第23号(平成24年12月発行)

さる10月22日(月)に平成24年第3回定例会が開会され、同月31日(水)に一般質問が行われ、認定議案2件が認定され閉会しました。

今回は、杉浦貴議員(四日市市議会選出)、中川康洋議員(三重県議会選出)の二人が四日市港港湾行政に関する質問を行い、管理組合執行部に答弁を求めました。

主な質問・答弁要旨

杉浦貴 議員



中川康洋 議員



○ **管理組合と県環境保全事業団との間で締結された廃棄物埋立事業に関する協定書において、事業団に「客観的に見て過大である収益があった場合」管理組合にその収益の一部または全部を納付することとあるが、まだ一度も納付されていない。その事に対する考え方等をお聞きしたい。**

◎ まず三田最終処分場は、国の補助事業として認められた石原地区の廃棄物埋立護岸工事事業での埋立地の一部ですが、国からの補助金の交付条件として、事業の完了によって管理組合に相当の収益が生じる場合は、交付した補助金に相当する金額を国に納付することとなっており、事業団から収益納付を受けるのは、この考え方を参考にしたものです。

次にこの協定書に基づく収益納付の時期については、初期投資段階では処分料が入っていない事、また事業完了後も廃棄物への覆土等の費用がかかるため、それらが完了する見込みが立ってから、事業団と協議し、確定していきたいと考えております。

○ **千歳地区にある埠頭ビル1階の船員船客待合所は、四日市の新たな観光スポットとして大変好評な夜景クルーズの集客場所として使われているが、ビル自体が昭和46年に建築され、相当老朽化が進んでいる。そこで、埠頭ビル及び待合所の具体的な改修整備についてお答えいただきたい。**

◎ 千歳町にある埠頭ビルについては、管理組合だけでなく、5者の共同所有になっていますが、ビルそのものが40年以上経過し、かなり古くなっていますので、数年前から耐震の件について検討をし、ビル本体については平成25年度から老朽化対策の改修工事を実施するよう最終調整を行っております。

また、ビル1階の船員船客待合所については、管理組合所有であり、改修等の要望もいただいていますので、四日市市や市の観光協会等関係者と一緒になって、役割分担を決めたいと、具体的にはトイレや内装の改修、できればテレビモニター等も置くなど、できる限り早期の対応を検討していきたいと考えています。

※詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。